

シンポジウム

「吹きつけ石綿・ 石綿含有建材の建物調査 何が現在適切か？」

6月末以降、クボタに端を発した報道に応じ、各省庁からの多くの通達が出されています。適切な通達も散見されますが、1987年の文部省通達同様、内容に誤りのある通達もあり、自治体等現場の混乱がおきている報道がなされています。

通達は先進事例を参考として内部で十分検討した後、調査が実行できるように調査員の研修も行いながら実施されるものと思います。しかしながら検討及び十分な研修を行う体制の確保のない中で、調査依頼が行われています。1987年の国の通達の誤りを、2005年に繰り返してはならない、と私達は強く思い、以下のシンポジウムを開催いたします。

日時 8月28日（日）10時～12時

場所 東京グリーンパレス「さくら」

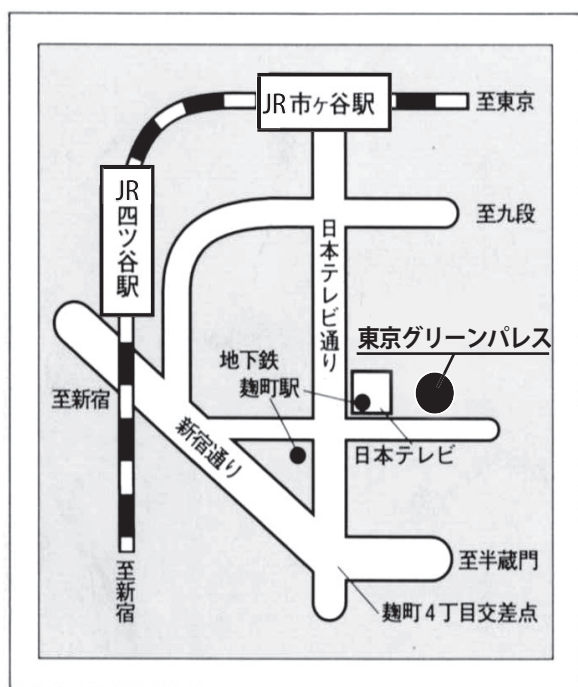
東京都千代田区二番町2番地 TEL 03-5210-4640
地下鉄有楽町線麹町駅から徒歩1分
JR中央線四ツ谷駅または市ヶ谷駅から徒歩6分

参加費 無料

司会 名取 雄司（アスベストセンター所長）

シンポジスト

- 1) 現在、適切と考える建築物の石綿含有調査方法
大越 慶二 氏（環境コンサルタント）
- 2) 先進的な自治体での調査方法について一練馬区－
琴尾 隆明 氏（練馬区企画課長）
- 3) 神奈川県自治体建物調査 アンケート報告
西田 隆重 氏（神奈川労災職業病センター）
- 4) 2005年国の通達の問題点
永倉 冬史 氏（アスベストセンター事務局長）



主催 中皮腫・じん肺・アスベストセンター

共催 石綿対策全国連絡会議 / 中皮腫・アスベスト疾患・患者と家族の会

お問い合わせ先 中皮腫・じん肺・アスベストセンター 〒136-0071 東京都江東区亀戸 7-10-1 Zビル5階
TEL 03-5627-6007 FAX 03-3683-9766 E-mail info@asbestos-center.jp